

近藤忍後援会 2017 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様には日頃から大変お世話になっております。

2017 年 5 月に議員在職 10 年を迎えた近藤忍の昨年 1 年間における活動の一端を本年も報告させていただきます。なお、昨年までは年始に発行しておりました活動報告書ですが、今回から翌年度予算が確定し事業の内容が明らかになる年度始めの発行に変更しました。今年はまだ届かないと思われる方も居られるかと思いますが、ご理解賜ると共に、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。

2018 年 4 月

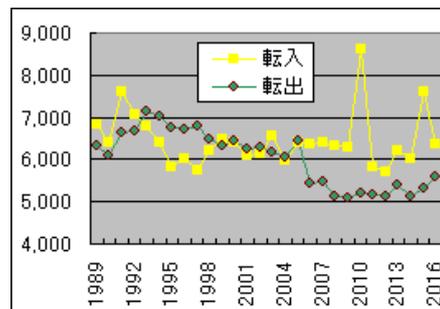
後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

近藤忍は、2 回目の予算委員長を務めた昨年 3 月の定例議会を除く 3 回の定例議会にて個人質問を行いましたので、その概要を報告させていただきます。詳細は木更津市と近藤忍のホームページに記載されております。

6 月定例議会：「持続可能な人口施策・都市施策・行政運営について」

木更津市の人口は 2026 年をピークに減少するものと予測されていますが、市の活力を維持するために積極的な人口施策を展開すべきだと質問しました。子育て支援、移住の促進と転出の抑制、雇用を拡大する産業振興、都市環境の向上、行政の効率化と強靱化などをテーマに質疑を行い、市も移住定住促進窓口での展開、空き家バンク制度に伴うリフォーム助成制度の拡大、公共交通の整備について検討を進めることになりました。



9 月定例議会：「水道の広域統合・海上消防力の強化・歴史的遺産」

2019 年 4 月にかずさ四市の水道事業と君津広域水道企業団が統合しますが、その課題や対策すべき問題点について建設行政に係わってきた知識を活かし質問しました。統合に伴うワーキングチームにおいて私の指摘は検討されています。また本市は消防艇の配置が求められている自治体になっていますが、市川市の事例などを取り上げコストや人員の問題を指摘し、今後の対応について確認しました。



本市の歴史的遺産として金鈴塚出土品の国宝化事業が進められていますが、他にも保存状態の良い太田山古墳や戦国時代初期の真里谷城、最後の大名といわれた林忠崇氏など誇るべき歴史が多くあり、近代でも太田山防空壕といった戦争遺跡が存在しています。全国的には左の写真に示す群馬県の箕輪城の様に中世の城址や古墳の復元作業を進めている事例もありますので、本市に愛着のある市民を育てるためにも歴史的遺産を活用する政策をどう展開するのかを質問しました。

1 2 月定例議会：「社会資本の諸課題」

火葬場周辺の道路改修や中野畑沢線の信号機など道路の諸問題を始めとして橋梁・公園・護岸・鉄道といった社会資本の諸課題を多方面から指摘しました。巖根駅については 2018 年度にバリアフリー化の予算が計上されますが、総武線快速停車に向けても協議を進め、木更津市の人口減少防止に寄与するよう要望しました。



※ 議会質問の全文は近藤忍の HP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>] と木更津市議会の HP [<http://asp.db-search.com/kisarazu-c/>] で読むことができます。またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>] では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

総務常任委員会委員長を6月まで務めていましたが、2年間の委員長職を終え、以降は委員として総務・企画・財務・消防等の業務について調査や審査を行っています。その一環として8月に戸田市の政策研究所や岩手県紫波町の公共施設に対する民間活力導入事例等を視察しました。昨年3月の**予算審査特別委員会**では**委員長**を務め、2017年度予算の審査を効率的に行えるよう運営し、委員長からも多くの質疑を行いました。**議会基本条例策定特別委員会**では24回の会議を経て本年3月議会で議会基本条例を議決し、今日1日から施行しています。

議会運営委員会では昨年1月に小松島市と洲本市でペーパーレス議会に向けたシステムを比較調査し、7月には本市が選定したシステムを採用している嘉麻市と壱岐市でタブレット端末の使用に関するルール等の調査を行い、12月議会から県内最初のペーパーレス議会が始まりました。これによりコスト削減と議論の高度化が目指せます。

基地対策特別委員長としてはオスプレイの影響を調べるため昨年2月に米軍基地のある岩国市の調査と木更津基地の格納庫に入ったオスプレイの視察を行い、9月4日には防衛省に対して議会の要望書を提出し、10月には米軍との協定を調査するため三沢市を訪れました。



所属会派の**羅針盤**は木更津市議会の最大会派であり、2017年も研鑽を重ねるため1月に指宿市の地産他消に向けた特産品販売拡大事業と鹿児島市の農業公園を視察し、7月には函館市の地域交流まちづくりセンター、室蘭市の複合公共施設整備事業、北広島市のバイオマス利活用施設等を学んで参りました。9月28日には会派の要望書を渡辺市長に提出し、概要を本年元旦に会派報として全戸配布しました。また近隣四市の議員で構成する**賢友会**では、11月に大田区の斎場を視察し、現在進められている新火葬場の問題点を調査しました。



3. 地域等における活動報告

岩根西まちづくり協議会の主催する春の防災訓練、夏の地域交流ラジオ体操、冬の子供部会の工作イベント等に参加すると共に、秋の岩根地区文化祭等の様々な行事や会合に出席し、住民の方々と様々に意見交換をして参りました。小櫃川さくら祭りや太田山竹取物語等ではスタッフとして活動しました。

4. 2018年の取り組み

今年中に最初の整備が終わり順次飛来が予想されるオスプレイに関し、協定が遵守されるか注視します。また再選を果たした渡辺市長が進める東京オリンピックに向けたキャンプ地や外航クルーズ船の誘致活動については、積極的に協力して参ります。2019年度から広域連合となる水道事業の制度設計や公共施設の再配置計画、待機児童解消に向けた保育園民営化の推進、大規模地震に備えた防災対策等については引き続き取り組んでいきます。特に2018年度に進められる江川運動場の拡張整備や巖根駅のバリアフリー化に向けた計画推進に対しては、地元でもあり技術者でもある立場から責任を持って見届けたいと思います。今春2歳になる娘が木更津市に誇りを持てるような街にしていこうと努力して参ります。



5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは公職選挙法違反となるため、本年も発送しなかったことをご理解願いたいと思います。本年度より年度替わりに後援会より会員の皆様に対して活動報告書を郵送しましたが、本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メール等の方法にてお願いします。